

名 称	春日市体験活動ボランティア活動支援センター
所 在 地	〒816-0831 福岡県春日市大谷6-24
連 絡 先	TEL : 092-575-4121 FAX : 092-593-7380 URL : http://www.u-zak.ne.jp/seisyonen/home.html

地域の現況・特色

活動対象地域の人口 春日市 109,429人（平成19年1月15日現在）

本春日市は、九州北部、福岡都市圏の中央部に位置。福岡市の南側に隣接し、福岡市中心部まで10キロメートル圏内という地理的好条件に恵まれている。東西4キロメートル、南北5.34キロメートルの菱形に近い円形をしており、面積は14.15平方キロメートルで、福岡県内で一番面積の小さな市である。古くは、弥生時代から繁栄していた歴史があり、墳墓、遺跡など歴史的な文化遺産に恵まれている。

平成14年度から「子どもを地域で育てよう！」を合言葉に地域の教育力の向上に取り組んできたが、平成16年度から18年度までの予定で「地域子ども教室」を市内全小中学区で展開。子どもたちの体験活動の機会や地域とのふれあいの場を提供している。

コーディネートした事例の名称、概要、特色

名称 「春日市遊び名人マスターによる小学校等支援活動」

平成15年度と16年度に10回コースのボランティア養成講座「遊び名人マスターコース」を開講し、それぞれ高齢者を中心に20人前後の参加があった。その修了生40人程度がボランティア団体「春日市遊び名人マスター」を結成し、子どもたちの応援団を自負するとともに、活動を通して自分たちも生きがいや喜びを感じていただく形で活動が継続されている。

平成17年度からは毎月1回の定例会を開き、情報交換や新しい工作等の技術向上に努めている。活動の場としては、支援センターのコーディネートにより、学校（生活科や総合学習・特殊学級）、市内3箇所の児童センター、市や社会教育課の主催事業を中心に活動してきた。コーディネートの方法としては、年度当初に支援センターから活動依頼書を前述の学校等に送付し、活動依頼時期や内容等を記入の上提出してもらっている。年度初めには、ある程度1年間の活動の見通しが立つことから、遊び名人さんが参加しやすいように、また、個人の予定が立てやすいように支援センターで心がけている。

平成18年度は、上記以外に各小学校にある放課後の学童クラブ（放課後児童クラブと言い、それぞれ愛称が付けられている）と「ハート館かすが（不登校児童生徒の適応指導教室）」からも支援センターに派遣依頼希望があり、活動の幅がさらに広がる見通しである。

コーディネートの実際

上記、概要で書いたように、年度初めに各方面からの依頼を支援センターで把握し「春日市遊び名人マスター」の4月の総会で提示している。各方面に依頼書の提出を求めるときは、前年度の活動実績（活動場所や内容の一覧）を付け、新規依頼の参考になるようにしている。具体的な日時や内容の打合せは、1ヶ月半ほど前に行い、その結果を定例会で報告している。

「行かれるときに行きましょう。」を合言葉に、子どもたちと触れ合うことが遊び名人さんの喜び、生きがいになっているところから、名人さんからは他の用事と重ならない限り積極的に支援いただいている。

○成果

平成17年度からは16年度の養成講座の2期生も加わり、人数的にも倍増し（41人）人材的にも豊富さを増し、外部からの活動依頼に幅広く対応が可能となった。実際に活動実績の回数も年々増加している。また、初めて放課後児童クラブ（春日西小学校学童「つばめクラブ」）から「竹のお箸づくり」の依頼があり、竹細工の得意なメンバーにより良い活動ができた。学童の指導員さんの多忙さは聞いているので、18年度は学童クラブにも年度初めに依頼アンケートを出す必要があるだろう。

さらに、17年度は養成講座を行わず、毎月1回の定例会を開く中で会員相互の親睦と新しい技術の向上に努めてきた。そのことにより、皆さんの技術の向上を図ることが出来たし、何よりも目的をきちんと共有化できたことと仲間意識の強化が出来たことが成果といえる。市報で会員の募集を1回のみ行ったが、会員の皆さんの口コミにより新しい会員も増やすことができた。皆さんに、「この会は楽しいから。子どもたちとの活動も、元気がもらえて有り難い。」と言っていただけののが何よりも嬉しい。

○課題

平成17年度から、会費として年間1人2,000円を徴収し、通信費・自分たちの研修の材料費・定例会の茶菓子代などに充てている。事務局として会計実務や定例会の企画準備等の負担が大きすぎる。（他の仕事もあり、専任のコディネーターではないため）

活動内容自体は立派な社会教育貢献の団体であるが、今後、社会教育関係団体として認定されることを目指すべきだと考えるので、そのためにも会員の皆さんの自立的運営力を次回はつけていただく必要がある。

「遊び名人」以外にも、学校に協力を依頼したアンケートの結果、学校現場の多忙の中で主に小学校の書道、体育、家庭科の授業や特殊学級への応援等でボランティアの要望が強いことが分かった。そこで、書道連盟や体育協会、地域人材や女性部と学校のコーディネートに取り組む必要性を感じている。また、中学校では、職場体験の協力事業所の開拓に苦労し

ている。商工会との連携により、学校教育課・社会教育課が行政として支援することも重要課題である。



春日小学校 1 年生生活科「昔遊びにチャレンジしよう！」で、あやとりを教える遊び名人さん



春日東小学校 2 年生生活科「秋で遊ぼう」で、どんぐりやまつぼっくりを使って、おもちゃや人形作りを指導する遊び名人さん

あそ めいじん
平成17年度春日市遊び名人マスター活動実績

活動日	依頼者	活動内容	遊び名人参加人数
7月1日(金)	毛勝児童センター	“みんなであそぼ”セタのこより作り。	5人
7月2日(土)	日の出小PTA アンビシャス広場	アンビシャス広場(参加者60人ほど)のセタ会でこより作りの指導。日の出小体育館	7人
7月6日(水)	毛勝児童センター	“みんなであそぼ”セタのこより作り。	4人
8月1日(月)	春日西小学校 第2つばめクラブ	竹のお箸づくり指導。児童25人程度	9人
8月20日(土)	社会教育課 家庭教育学級	「親子夏休み作品作り」荷造りテープを使ったの金魚作り。	13人
9月11日(日)	毛勝児童センター	子どもたちに絵手紙を教えて交流。	3人
10月15日(土)	毛勝児童センター	どんぐりのトトロ作り	6人
10月14日(金)	春日北小学校	全校総合的学習 事前交流学習	15人
11月2日(水)		全総合的学習 北っ子あそび本番	13人
11月6日(日)	社会教育課	春日市文化祭「キッズコーナー」(親子工作コーナー) バルーンアートの制作	16人
11月24、30日 12月6、12日	春日東小学校	2年生生活科「秋であそぼう」	延べ42人
12月23日(金)	社会教育課	親子しめ縄作り(親子20組)	17人
1月12、19日 2月1日	春日小学校	1年生生活科「昔遊びにチャレンジしよう」けん玉、こま、おはじき、お手玉、折り紙、あやとり	延べ45人
1月27日(金)	春日南小学校	3年生総合的学習「昔遊びをしよう」	12人
3月15日(水)	春日小学校	2年生生活科「紙飛行機をつくってあそぼう」	21人
3月29日(水)	毛勝児童センター	「毛勝フェスタ」の支援(竹馬・こま)	9人

年間15会場、21回の活動

執筆者職・氏名：春日市教育委員会 社会教育課 地域活動指導員 水城 克美